

船舶事故等調査報告書

平成22年3月25日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第9号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年1月10日 12時45分ごろ	
発生場所	父島から真方位300° 180海里付近 (概位 北緯28° 35.9′ 東経139° 14.3′)	
事故等調査の経過	平成21年1月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。原因関係者としてのB船船長からの意見聴取は、B船が不明であるため行わなかった。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 漁船 莉奈丸、19.55トン KO2-5823（漁船登録番号）、個人所有</p> <p>B 不明</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長A、一級小型船舶操縦士</p> <p>B 不明</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A 船首部圧壊、マスト曲損</p> <p>B 不明</p>	
事故等の経過	<p>A船は、船長Aほか6人が乗り組み、小笠原群島西方沖の漁場においてまぐろ延縄漁の操業を行ったのち、鳥島北西方沖の漁場に向けて航行を始めた。A船は、甲板員の1人が、操舵室上部の見張り室において左舷方に向く姿勢で座いすに座って見張りを行いながら、自動操舵により約7～7.5ノットで北進中、平成21年1月10日12時45分ごろ、A船の右舷方から接近したB船とA船の船首部が衝突した。</p> <p>B船はそのまま航行を続けて西進し、A船は父島で修理を行った。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北東、風力 6、視界 良好</p> <p>海象：うねり波高 約3m</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>A あり、B 不明</p> <p>A なし、B 不明</p> <p>A なし、B 不明</p> <p>本事故時、A船は当直中の甲板員が、左舷方に向いた姿勢で見張りを行っており、右舷方の見張りを行っていなかった可能性があると考えられる。</p> <p>B船を特定することができなかったため、衝突した状況を明らかにすることができなかった。</p>
原因	<p>本事故は、小笠原群島北西沖において、A船が北進中、B船が西進中、両船が衝突したことにより発生したものと考えられるが、原因を明らかにすることはできなかった。</p>	